

## ダルシュシャファカ校日本週間

2015年1月12日（月）～16日（金）

イスタンブール大市サリエル市に所在するダルシュシャファカ校と共催で日本週間を開催しました。期間中は、日本の文化、芸術、社会、技術をテーマとした各種展示会や、ジャパンビデオトピックスや邦楽、和食に関するDVDが校内各所で上映されました。また、13・15日のクラブ活動日には、剣道、和太鼓、日本食ワークショップ、日本紹介セミナー、防災セミナー及び日本映画上映などの多彩な日本文化紹介プログラムを実施しました。ダルシュシャファカ校は親のない子どもを対象にしたトルコ屈指の名門全寮制学校です。この日本週間を通じて多くの生徒が日本に対する関心と理解を広げてくれたのではないかと思います。

### 剣道ワークショップ（1月13日）

中等部バスケットボール、バレーボール、バトミントンクラブの生徒約90名を対象に、イスタンブール工科大学剣道クラブによる剣道ワークショップが行われました。生徒全員が順番に竹刀を持ち、面・胴・小手などの基本的な技を体験しました。



### 日本紹介セミナー（1月13日）

中等部芸術系クラブの生徒約60名を対象に、山田職員が簡単な日本語と日本の基礎知識の紹介、DVDの上映、グループ対抗日本クイズ大会、日本の新聞紙を使った兜作りを行いました。



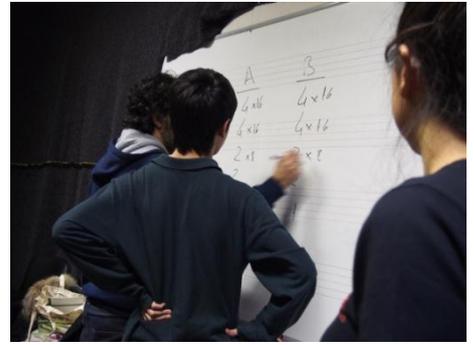
## 日本映画上映（1月13・15日）

中等部外国語クラブ及び高等部映像・写真クラブの生徒約30名を対象に、「南極の料理人」を上映しました。



## 和太鼓ワークショップ（1月13・15日）

ドイツ・ブレーメンを拠点に活躍するプロ和太鼓奏者のカラユルマズ恵美子さんによる和太鼓ワークショップが行われ、パーカッションクラブの生徒25名が参加しました。生徒は初めて演奏する和太鼓の迫力ある響きと、体全体を使った演奏技法を体験しました。



## 記念式典（1月15日）

式典は、浴衣を着た男女各一名の司会進行により、生徒による日本とトルコの歓迎の曲の演奏で始まりました。当館笹谷首席領事による日本週間開催記念スピーチの後、アイシエ・ギョレイ中等部校長により記念の盾が贈呈され、ダルシュシャファカ教育機関理事会メンバー、同校生徒及び笹谷首席領事の記念撮影で式典は終了しました。



## 防災セミナー（1月15日）

森脇義則安藤・ハザマトルコ代表を講師に迎え、高等部運動クラブ所属生徒約60名を対象に、地震防災対策セミナーを行いました。生徒たちはトルコの建築事情に則した地震防災対策の重要性を学びました。



## 日本食ワークショップ（1月15日）

高等部料理クラブ10名と食堂の調理師を対象に、大崎公邸料理人による巻き寿司ワークショップを行いました。



参加した生徒は自分たちで作ったサーモンとキュウリの巻き寿司を試食し、箸の使い方を学びました。



大崎公邸料理人は当日の給食で出された日本食メニュー（うどん、やきとり、緑茶）を試食し、食堂調理師の努力に敬意を表するとともに、今後も生徒たちが日本食に親しむ機会が増えることを期待し、日本食と食文化に関する本を贈呈しました。



## 座談会（1月15日）

日本食ワークショップの後、小崎領事は生徒たちと一緒に巻き寿司を試食しながら、今回の日本週間の感想や日本に対する印象を話し合いました。特に、料理クラブの学生たちは、調理法のみならず、箸の使い方や食材、その背景の日本文化に至るまでとても関心が高く、質問攻めにあいました。

ある学生が、「ぜひ高校時代に日本に留学したい！」と生き生きと話していたことが印象的でした。



## 展示会及び DVD 上映（全期間）

日本週間期間中は、ダルシュシャファカ校教師及び同校卒業生ユスフ・クルト氏の企画・制作による日本の礼儀作法・技術をテーマにしたプレゼンテーション、書道、東海道五十三次版画作品、ジャパンビデオトピックス、邦楽、祭り、日本食などの DVD が、エントランスホール、食堂、ホワイエなど校内の各所で展示・上映されました。

